

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Clinical diagnosis and therapy of cutaneous melanoma in situ.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1. 有り 2. 無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ10-4	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ IV ）	
	Pubmed ID	8608479	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	77	
	号	5	
	ページ	888-92	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1. 医学 2. 歯学 3. 看護 4. その他 （ 1 ）	
	原本言語	1. 日本語 2. 英語 3. ドイツ語 4. その他 （ 2 ）	
	発行年月	1996	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Bartoli C	Instituto Nazionale Tumori
その他著者 1		Bono A	同上
その他著者 2		Clemente C	同上
その他著者 3		Del Prato ID	同上
その他著者 4		Zurrida S	同上
その他著者 5		Cascinelli N	同上
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	① In situ 病変の臨床的特長を明らかにする ② In situ 病変に対する適切な外科療法を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	Istituto Nazionale Tumori	
	対象者	1975 年から 1993 年までに登録された 113 人に生じた 121 の in situ 病変	
	対象者情報（国籍）	1. 日本人 2. 日本人以外 3. 国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1. 男性 2. 女性 3. 男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1. 乳幼児 2. 小児 3. 青年 4. 中高年 5. 老人 6. 乳幼児・小児 7. 乳幼児・小児・青年 8. 乳幼児・小児・青年・中高年 9. 乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10. 小児・青年 11. 小児・青年・中高年 12. 小児・青年・中高年・老人 13. 青年・中高年 14. 青年・中高年・老人 15. 中高年・老人 16. 乳幼児・青年 17. 乳幼児・中高年 18. 乳幼児・老人 19. 小児・中高年 20. 小児・老人 21. 青年・老人 22. 年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	病変の最大長、発症部位、病変は平坦か/隆起性か、病変は対称か/ 非対称か、辺縁が整か不整か、辺縁がはっきりしてるかしてないか、 色調、色調が単一化否か、外科医の手術切除マージン	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	局所再発	1. 主要 2. 副次 3. その他（ 1 ）
	2		1. 主要 2. 副次 3. その他（ ）
	3		1. 主要 2. 副次 3. その他（ ）
	4		1. 主要 2. 副次 3. その他（ ）
	5		1. 主要 2. 副次 3. その他（ ）
	6		1. 主要 2. 副次 3. その他（ ）
	7		1. 主要 2. 副次 3. その他（ ）
	8		1. 主要 2. 副次 3. その他（ ）
	9		1. 主要 2. 副次 3. その他（ ）
	10		1. 主要 2. 副次 3. その他（ ）
	主な結果	① 男性 50 病変、女性 71 病変。頭頸部 40 病変、体幹 37 病変、上肢 15 病変、下肢 29 病変。最長径 6mm以下が 23%、6mmより大きいものが 77%。切除マージン 3mm前後が 57%、3mm 以上 2cm未満が 43%。 ② 4 年間のフォローアップのあいだに、121 病変中 6 病変で局所再発が見られた。5 病変は顔面で 1 病変は足であった。それぞれの最長径は 9、13、15、30、30、30mmであった。それぞれの切除マージンは 3、10、3、8、3、5mmであった。	
	結論	顔面で最大長が 2cm 以上の病変は再発のリスクが高く、最大長が 2cm 以上の病変を除いた病変の最適切除マージンは 3mm である。	

	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（Ⅳ） In situ 症例を多数集めた優れた報告である。